

北海道の山旅の山行報告

北海道の山を4つ登ってきました。(夕張岳、芦別岳、石狩岳、カムイエクウチカイン山)
その報告をいたします。

予定では、もう一つ、ニペソツ山に登る予定でしたが、天候が悪く登れませんでした。

① 夕張岳

- 【山城】 夕張山地
【コース】 冷水コース
【日時、天候】 H28年7月30日(土) 曇り ガス深し
【登山方法】 ハイキング 日帰り
【メンバー】 CL 鈴木憲二 鈴木愛子(記録)
【山行タイム】 登山口 5:00→冷水の沢 6:325→馬の背コース分岐 6:50→望岳台 7:40→憩沢→吹き通し
→夕張岳頂上 10:00 着→往路を下る→登山口 14:30

【報告】

昨日、夕張岳の麓のカレー屋さんの女将さん曰く、「7月24日に地域の子供たちが夕張岳に行ったのだけど、熊がいて途中で帰ってきたのよ。気を付けてね」とのこと。

朝5時、熊よけに鈴を2つつけて出発。冷水コースに登る。最初は緩やかな道であったが、段々きつい登りとなり、石原平に着くと、そこはシラネアオイの群生地であった。花期が終わり、咲いていなかったが、咲いている頃はとても綺麗だろうなと思いながら歩く。

更に歩を進め、憩沢に着くと、シナノキンバイ、あやめ、ミヤマキンポウゲ等が咲いていて綺麗であった。

前岳湿原に着くと、木道が多くなった。チングルマやハクサンイチゲは、もう咲き終わっていた。シロウマアサツキが大群落となって咲いていて、とても可愛かった。

頂上直下に祠と、とりいがある窪地があった。そこも、ウサギギク、ヨツバシオガマ、名前の分からない白い花、エゾフウロ等々が沢山咲いていて、ガスが深くて、周りの山々は何も見えなくても、花たちに癒された。

木道を歩いた時、笹が私の胸くらいまで茂り、ヤブ漕ぎをした所が結構長くあり、辟易した。

頂上はガスが深く、何も見えなかった。晴れていれば、360度の展望、大雪山、日高山脈の山々が見える由、残念であった。

下山は往路を辿り、登山口着14時半。休憩を入れて9時間半の山行。疲れた。

車に乗り、宿に向かって走り始めた途端に本降りの雨。山で雨にあわず、熊にもあわず、良かった。

ネットによると、晴れていれば、登山者で賑わう夕張岳らしいが、今日は、出会った人は単独行の人二人だけであった。



夕張岳頂上にて



ユキバヒゴタイ



シロウマアサツキ

② 芦別岳

- 【山城】 夕張山地
【コース】 新道コース
【日時、天候】 H28年8月1日（月）曇り後雷雨
【登山方法】 ハイキング 日帰り
【山行タイム】 登山口 5:00→見晴らし台 6:45→鶯谷 7:45→半面山 8:53→雲峰山→芦別岳頂上 10:50 着
11:10 発→往路を辿り、登山口着 14:30
【報告】

朝、出発前、雲の間から太陽が少し見えていたので、出発する。「ヤマテン」の予報は、曇り、一時雨。（北海道は大雪山とトムラウシしかなくて、その山の予報であるが）

ダケカンバの多い森の中、登山口から1時間位の所に「呻吟坂（序曲）」という標識があった。うめき苦しいほどの坂の始まりなのかなと思いながら歩く。その辺りから鶯谷まで急登が続いた。

半面山、雲峰山に着いた頃はガスが深く、ほとんど見えなかった。晴れていれば芦別岳の頂上や、ユーフレ川源流部の岩稜群が見え、素晴らしい展望とのこと。一瞬、ユーフレ川源流部の岩稜群が見えたが、芦別岳の頂上は見えず、残念であった。

頂上直下にお花畑があった。ここは、まだチングルマが沢山咲いていて嬉しくなる。ウサギギク、ヨツバシオガマ、タテヤマリンドウ、エゾフーロ等々が沢山咲いていて綺麗であった。

頂上で少しの間、ガスが晴れた。頂上直下の北西方向1キロ位先の山の斜面に黒い動くもの発見、熊であった。鈴をならす。熊もじーっと私達を見ていたが、そのうち斜面の中に消えて行った。40数年山歩きしているが、山で初めて熊を見た。近くではなかったこと、私達の方に来なくてほっとした。

頂上から下り、少しすると、雨が降り始めカッパを着る。往路を下る。12時頃より豪雨となり、登山道は沢の様。雷も鳴り始め、私達の近くに雷が落ちませんように、と祈りながら歩く。登山口14時半着。今日も休憩入れて9時間半の山行。芦別岳も笹のヤブ漕ぎがあり、疲れた。無事下山出来てほっとした。



ユーフレ川源流部の岩稜群



芦別岳頂上にて



チングルマ

③ 石狩岳

- 【山城】 大雪山系
【コース】 シュナイダーコース
【日時、天候】 H28年8月4日（木） 天気 曇り時々晴れ
【登山方法】 ハイキング 日帰り
【山行タイム】 登山口 4:35→石狩の肩 8:40 着 9:05 発→石狩岳頂上 9:55 着 10:15 発→往路を辿る。
→登山口 13:30 着

【報告】

登山口より30分位歩くと、沢があり、細いダケカンバの丸太の橋を、ストックを2本使い、慎重に渡る。

私の胸、顔位の高さまで茂っている笹のヤブ漕ぎに辟易する。急登の連続。私の背丈より高い垂直の壁が3～4箇所あった。2か所はロープが備え付けてあった。木の根っこ、岩につかまり、3点支持で登った所が多々あり。

そして石狩の肩に着く。稜線だ。北方向に音更山、ユニ石狩山の稜線、西方向に石狩岳の頂上、南方向にニペソツ山がガスに見え隠れして見えた。ニペソツ山の上部が槍ヶ岳の穂先の様でカッコいい。

石狩の肩はちょっとした広場になっていて、コマクサが沢山咲いていてとても綺麗であった。そこから稜線を登りへ。稜線は、イワブクロ、エゾフーロ、タテヤマリンドウ等他たくさんの花が咲いていて、とても綺麗であった。

頂上に9:55着。晴れていれば、大雪山、トムラウシがよく見える由だが、それらの山は中腹から下の部分しか見えなかった。霞がかった空の中、中腹に雪渓があちこち沢山ついているのが見え、頂上が見えない事、青空が見えない事が残念であった。晴れだと、雪渓の白、ハイマツの緑、空の青のコントラストがとても綺麗なのに……。

ニペソツ山が本当にかっこいい。今回の山旅で、ニペソツ山も登る予定だったのに、悪天候で登れなかった。心残りである。格好いい山の形を見ると、なおさら登りたかった思いが募った。来年、登れるかしら……？

往路を辿り、下山する。登山口着13:30。石狩岳も休憩を入れて約9時間。疲れた。

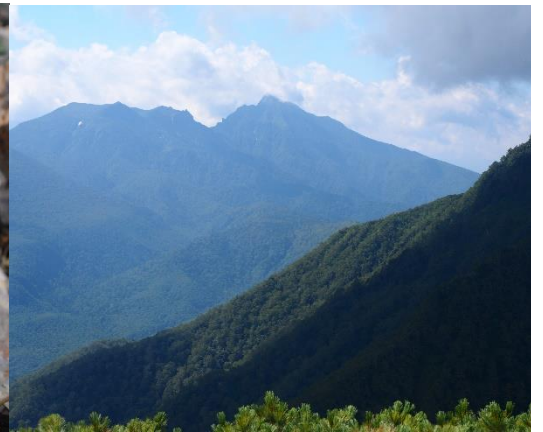
車に乗って宿に向かい始めたら、本降りの雨。山を歩いている時ではなくて良かった。



石狩岳頂上にて



コマクサ



ニペソツ山



名前の分からない花



タテヤマリンドウ



イワブクロ

④ カムイエクウチカウシ山

【山城】 日高山脈

【コース】 札内ヒュッテ→八の沢→カムイエクウチカウシ山→往路を下山

【日時、天候】 H28年8月6日（土）～8月8日（月） 天気 3日間とも晴れ

【登山方法】 沢登り + ピークハント テント泊

【山行タイム】

8/6（土）札内ヒュッテ駐車場 6:45→七の沢出合い 9:00 着 9:25 発→八の沢出合テン場 11:45 着

8/7（日）八の沢出合テン場 5:00→1000M 三股 7:13 着 7:25 発→八の沢カール 9:55 着 10:15 発→
カムイエクウチカウシ山頂上 12:05 着 12:25 発→八の沢カール 14:00→カール直下の湧水地
14:10 着 14:25 発→1000M 三股→八の沢出合テン場 18:00 着

8/8（月）八の沢出合テン場 6:30 発→七の沢出合 8:15 着 8:35 発→札内ヒュッテ駐車場 10:40 着

【報告】

8/6（土）

今回の山旅で北海道の山を3山登ったが、曇りや雨、ガスが深し、の天気だったが、今日は晴れ、久しぶりの青空に頑張るぞと、意欲がわく。

札内ヒュッテ駐車場から約8キロ、林道歩き。ここを自転車で行く人もいる。自転車の人に追い抜かれ、「いいなあ」と思いながら歩く。トンネルの中は涼しかったが、トンネルを抜けると暑かった。

七の沢出合で夫は、スニーカーから沢靴に履き替えた。私は、駐車場を出発の時から沢靴で歩いた。七の沢出合から八の沢出合テン場まで何回も沢を徒渉したり、河原のゴーロ状を歩いたり、巻き道を歩いたりした。徒渉地点は赤テープがあり、分かりやすかった。水の深さは、一番深い所で、身長150cmの私の膝上まであり、流れが速い所は怖かった。ストック2本で慎重に徒渉した。

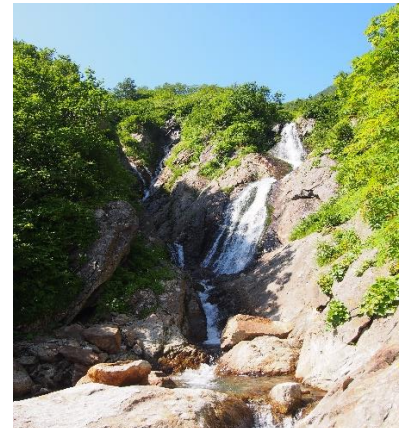
テン場着 11:45。テントを張った後、石橋さんに助言をもらった事である、明日出発する時の為に八の沢取り付きの確認をしておく。ちょっと分かりにくかったので助言をもらい助かりました。



八の沢カールとカムエク山



三股上部の滝



八の沢カール直下の滝

8/7（日）

今日は八の沢出合から八の沢をつめ、カムイエクウチカウシ山を往復する。赤テープやケルンの所で何度も渡渉したり、高巻いたりする。ゴーロ状の所に、太い流倒木があり、歩きにくかった。

三股は、3つある沢の真ん中の左岸の巻き道に取り付く。三股から上は急登の連続。大きな滝は巻いて登る。落石の危険があるガレ場、ロープが設置されている岩場があったり、笹の深いヤブ漕ぎがあったりで大変であった。

笹のヤブ漕ぎが終わると、問題のY字の沢に出た。右が水が流れている沢、左が水が枯れた沢。ここは、よく間違える人がいるので要注意とネットの記録に書いてあった所である。赤テープを確認し、左

の枯れた沢を登る。ずーっと滝を左に見ながら歩いてきたから、水の流れている方に行きたくなる感じがする。足元ばかり見て歩いていると、赤テープに気づきにくいかもしれない。

同じテン場にいた2組の夫婦が、私達よりずーっと先を歩いていたはずなのだが、八の沢カールには私達より遅く着き、聞いてみると、「そこで間違い、30分時間を損した」と言っていた。

更に歩を進めると、八の沢カールの直下の湧水地点に着いた。麓の日高山脈山岳センターの人曰く、その水は湧水なので煮沸しなくても飲める由、冷たくて美味しくて沢山飲んだ。下山時に、今夜使う分と明日の行動中の飲み水分として、夫と20づつ計40汲んで帰った。

間もなく八の沢カールに到着。1970年7月、福岡大の学生が熊に襲われ3人が亡くなった所である。その慰霊碑があった。合掌。

熊がいなか、確認する。いなくてほっとする。

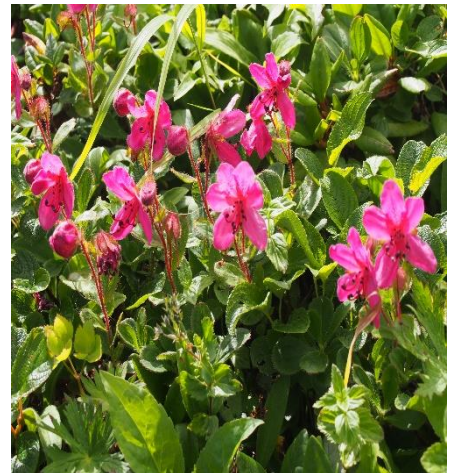
ここで沢靴から登山靴に履き替えて登る人と、沢靴のまま登っている人といた。私達は、荷を少しでも軽くしたくて登山靴は持参しなかった。沢靴のまま頂上へ向かう。



カムエク山頂上にて



頂上からのピラミッド峰



稜線のエゾツツジ

稜線に出ると、エゾツツジ、ウサギギク、エゾフーロ、シナノキンバイ等々他、沢山の花が咲いていて、とても綺麗であった。稜線から見えたカムエク山と反対方向のピラミッド峰が格好良かった。

更に歩を進めると、ハイマツとナナカマドのヤブで、私の胸丈まで茂っている深いヤブで、足元はしっかりした道になっているのだが、ヤブが深くて見えない。歩きにくいことこの上なかった。その上ハイマツの枯れ葉が積もっていて沢靴では滑りやすく、私は2度も滑って尻餅をついてしまった。

麓を出発する時、私の荷は14キロになってしまった。だから登山靴は持参しなかったのだが、いつか、カムイエクウチカウシ山を目指したい人は、リュックの中身をよく精査して出来るだけ軽くして、軽いハイキング用の靴を持参した方が良くもしい。ハイマツのヤブ漕ぎが終わり、岩場を3点支持で登り、お花畑を越すと頂上に着いた。ポロシリ岳、1839峰、ピラミッド峰など日高の山々がよく見え、しばし眺めを楽しんだ。

下山は往路を辿る。八の沢出合のテン場着18時。

今日のコースは 昭文社の地図の時間は、休憩なしで8時間半。私達は休憩を入れて13時間かかってしまった。何故こんなに時間がかかってしまったか。お花畑で写真を撮ることに少し時間をかけてしまったこと、湧水地点、と八の沢カール、頂上での休憩に時間をかけすぎてしまった。今日の長丁場を考えると、休憩時間をもっと少なくするべきであった。

私は6月より登山靴を新しくして、それが足に慣れなくて、カムイエクウチカウシ山の前の山行の時に

豆ができ、パッドつきの絆創膏をしても痛くて、いつもの山行より早く歩けなかった。

赤テープやケルンで道は分かったのだが、一部赤テープ間が長くて、不明瞭な所があり、ルートファインディングに時間がかかってしまった時もあった。以上がいつもの山行より時間がかかってしまった理由である。今にして思うと、朝もっと早く、4時か4時半には出発すれば良かったと思う。

8/8（月）

八の沢出合のテン場から往路を辿り、札内ヒュッテの駐車場に向かう。暑くて沢の中を歩いた時は気持ち良かった。札内ヒュッテ着 10:40.

○カムイエクウチカウシ山の山行を終えて

200名山で一番厳しく難しい山と言われているが、まさにそうであった。40数年登山をしてきたが、今までで一番厳しく難しい山であった。槍・穂高よりも剣岳よりも、鶏冠山よりも佐武流山よりも厳しかった。

沢の中を歩くことが多い事、沢の水が深い所は私の膝上まであり、流れが急な所もあった事、笹やハイマツのヤブ漕ぎが深い事、三股から上部は急登の連続、木の根っこ、岩につかまって3点支持で登らなければならない所が多々あった事、赤テープやケルンの目印があるのだが、その間隔の長い時のルートファインディングが難しい事。一日目、テン場までの私の荷が14キロになってしまい重かった事、沢の水が飲めないで、翌日の飲み水を煮沸してさまし（水作りの為のガスも必要）、作っておく事等々が厳しいと思った事である。

バリエーションルートの難しい鶏冠山を、登った時のような心地よい疲れ感、充実感はなく、ただただ、とても疲れた山であった。一度登ればよい山、もう一度登りたいとは思わなかった。

○北海道の山旅を終えて

北海道の天気は、曇り、霧、雨が多く、ついていなかった。それでも登った山全部が高山植物が沢山咲いていて、可愛い花たちに会え、良かった。

貧乏山旅なので、道の駅や登山口で車中泊したり、無料のキャンプ場や雨の時は、安いバンガローに泊まったり、洗濯をしたい時はユースホテルに泊まったりした。

石橋さんに教わった「トイビルカ北帯広ユースホテル」、食事がとても美味しくて、オーナー夫妻もいい感じでとても良かったです。お勧めです。

夕張フォレストユースホテルもお勧めです。ユースホテルの切り盛りは娘さん姉妹がしていて、お母さんが農業をされていて、お母さんの作った野菜をふんだんに使った新鮮な野菜のお料理が美味しかったです。大きな切り身の夕張メロンが夕食も朝食もできました。切り盛りしている娘さん姉妹もいい感じでした。

他にもユースホテルに泊まったのですが、上記二つが特に良かったです。

今回登った山は、4つとも200名山の中に入っている山だったが、登山道があまり整備されていなくて、厳しいなと感じた。が、夫は、面白いと言っていた。

今回、悪天で予定していたのに、登れなかったニペソツ山に来年登りたいと思う。